

5. 災害調査 福島県猫魔ヶ岳雪崩調査(2012.3.14)

| | | | |
|-------|---|------|----------|
| 研究代表者 | 雪氷防災：上石 勲、安達 聖 | 実施期間 | 平成 23 年度 |
| 研究参加者 | 池田慎二(土木研究所雪崩地すべり研究センター)、出川あずさ(日本雪崩ネットワーク) | | |

[目 的]

2012年3月13日午後3時30分ごろ福島県北塩原村の猫魔ヶ岳(標高1403m)の北東斜面で雪崩が発生し、2名の大学生が重傷を負った。積雪や雪崩発生状況を現地調査によって把握し、今後の雪崩の発生予測などに資することとした。

[実施内容]

猫魔ヶ岳スキー場パトロール員との現地調査ならびにけがを負った同じグループの学生からの聞き取りを行った。

調査実施日：2012年3月14日

調査箇所：福島県北塩原村猫魔ヶ岳北東斜面(図1)

[成果と効果]

- ・雪崩発生日時：2012年3月13日午後3時30分ごろ
- ・雪崩種類：面発生乾雪表層雪崩(図2)
- ・雪崩規模：長さ約200m、幅約50m
- ・発生点標高：約1380m
- ・破断面の厚さ：40~60cm
- ・発生面での傾斜：38~50度
- ・弱層：こしもざらめ雪(厚さ5~10cm)
- ・すべり面：融解再凍結クラスト
- ・雪崩発生状況：大学生5人のグループのうち、2人が雪崩発生斜

面上部から斜面にすべりこんだ後、3人目が斜面に入った直後に雪崩が発生し、斜面下部で待機していた2名が雪崩に巻き込まれた。2名は途中の樹木に衝突するなどして重傷を負い、隣接する裏磐梯猫魔スキー場パトロールによって救助された。

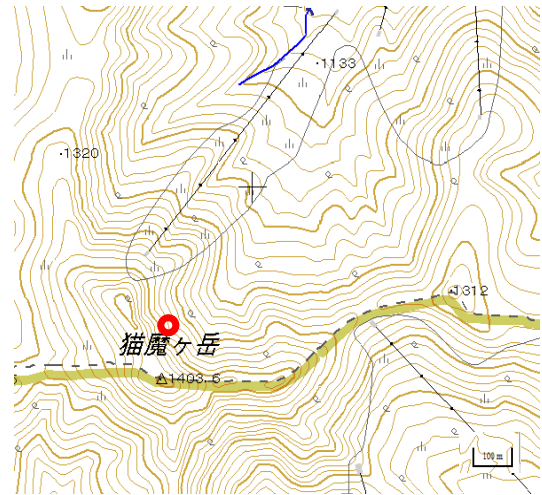


図1 雪崩発生箇所



図2 雪崩斜面の状況 写真中ほどに破断面が見える

[謝辞]

現地調査にあたり裏磐梯猫魔スキー場およびスキーパトロールの皆様、福島県土木部、北塩原村の関係者にご助力を頂きました。ここに御礼申し上げます。また、本雪崩事故に関しては日本雪崩ネットワークのホームページにも公開されている(<http://nadare.jp/2012/03/120313.html>)。